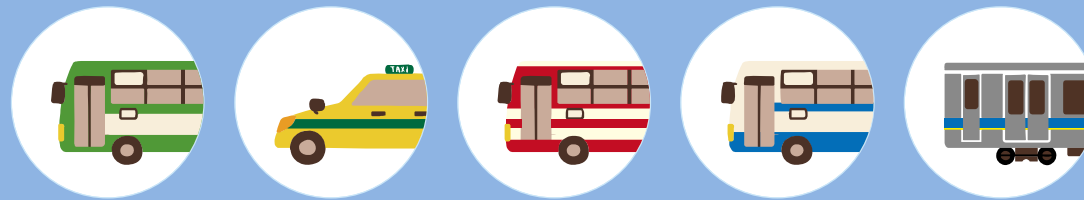


## 滝沢市地域公共交通計画 (滝沢市地域公共交通網形成計画) の施策への取組み状況について



〈 第 1 4 回滝沢市地域公共交通会議 〉

令和4年1月27日（木） ビッググループ滝沢 大ホール

滝 沢 市  
都 市 政 策 課

滝沢市 営業係長

ちやんぼん



# 1 公共交通利用向上プロジェクト

[施策 1 - 2] 市内移動における利便性向上

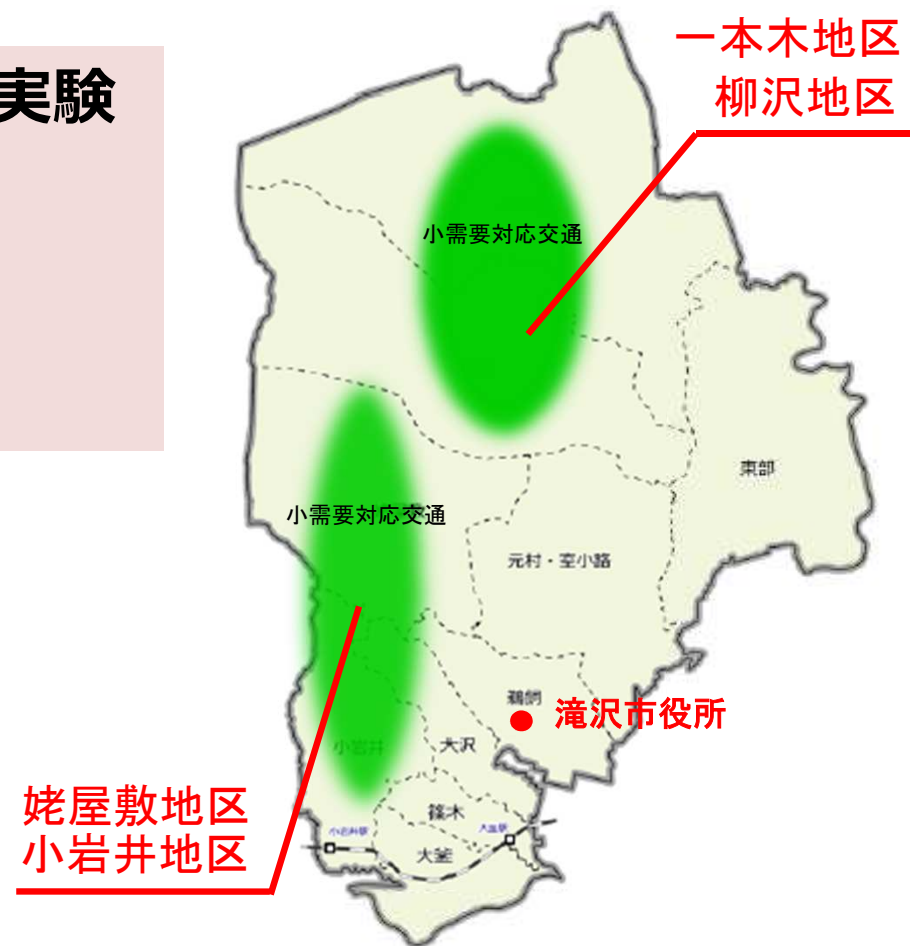
② 小さな交通需要に対応した交通サービスの検討



・ 柳沢・姥屋敷地区での実証実験を延期。来年度実施予定。

令和3年度 柳沢地区、姥屋敷地区で実証実験  
実施予定だったが、コロナの影響により延期。

令和4年度に実証実験を実施予定。



※令和3年度 地域公共交通活性化推進事業費補助金(県)を活用

# 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

## 〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

### ①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



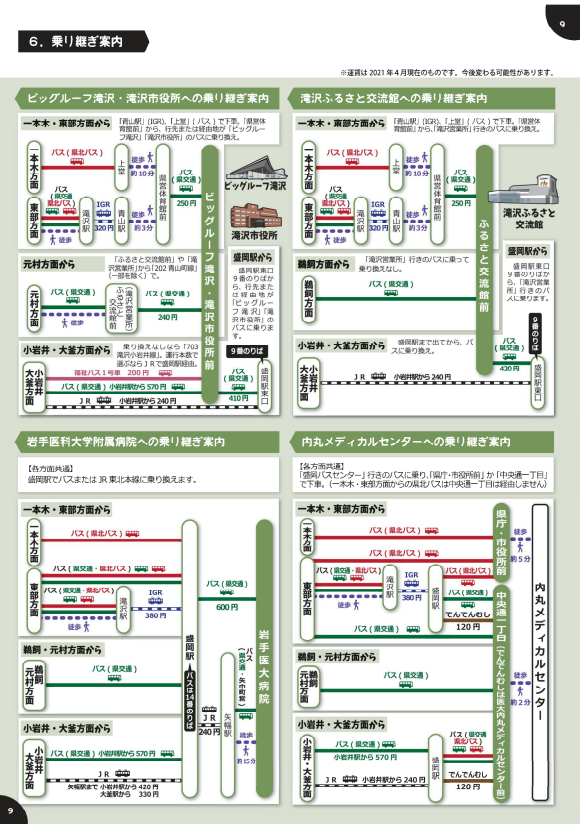
# ・「滝沢市公共交通マップ2021」の配布

## 「滝沢市公共交通マップ2021」の配布を開始

⇒ 令和3年4月から市内主要施設への配置、窓口で転入者へ配布



▲▶ 滝沢市公共交通マップ【2021】



※令和2年度 地域公共交通活性化推進事業費補助金(県)を活用



## 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

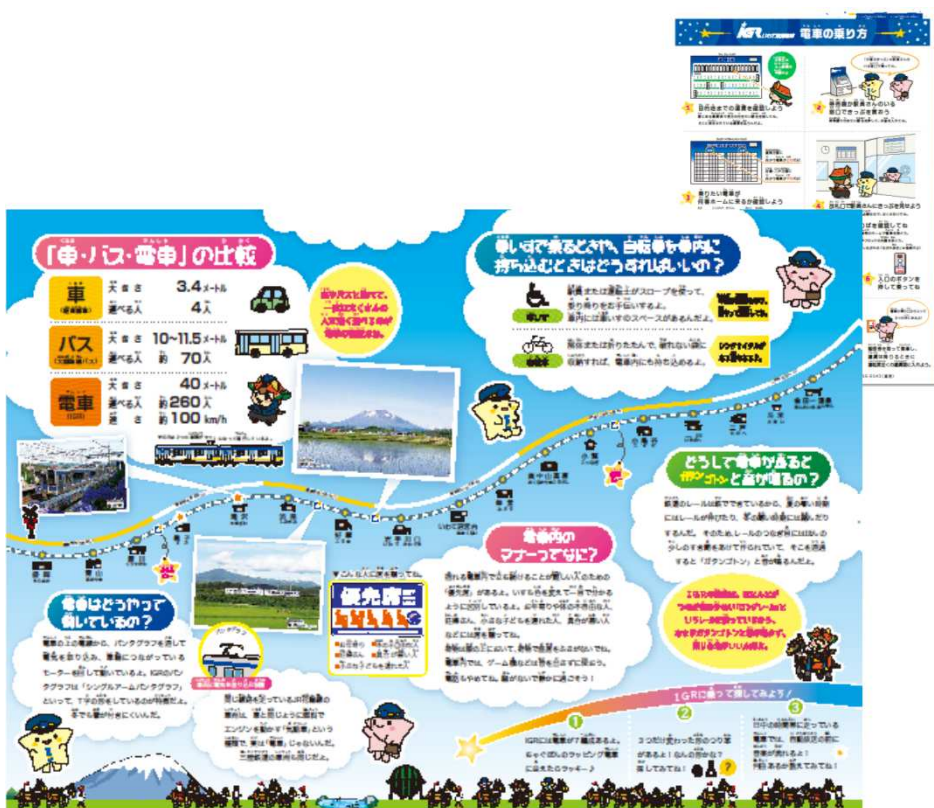
〔施策2-1〕情報発信による認知度向上

### ①公共交通の案内・情報発信ツールの作成



## ・IGRすきになっちゃうガイドの作成・配布（コロナ対策事業）

IGRやIGR沿線の魅力等を記載した、「IGRすきになっちゃうガイド」を作成し、クリアファイルと併せて市内小中学生に配布。



▲ IGRすきになっちゃうガイド

▲ IGR乗り方記載クリアファイル

※令和2年度 地方創生臨時交付金(国)を活用

## 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

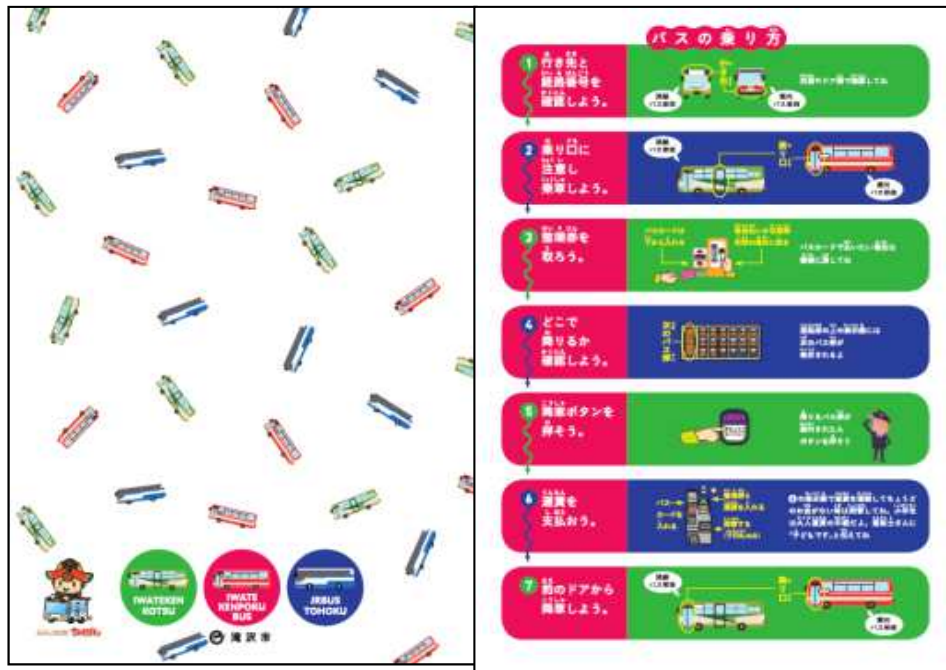
[施策2-1] 情報発信による認知度向上

### ① 公共交通の案内・情報発信ツールの作成



# ・公共交通利用動機付けリーフレット、バスの乗り方記載クリアファイルの作成（コロナ対策事業）

公共交通と自家用車をうまく使い分けてもらいながら利用を促す内容のリーフレットを作成し、内容を更新したバスの乗り方記載クリアファイルと併せて、来年度から窓口で転入者への配布やイベント等での配布を行う予定【現在作成中】



#### 公共交通の利用者数が減っています

2011年度は、1991年度比、約18%減少

年度	利用者数(人)
1991	164
1996	163
2001	161
2006	153
2011	132

マイカーを複数台所有する世帯が少なくなった際、公共交通利用者数は年々減少し、2011年度(平成23年度)の利用者数は、20年前の1991年度(平成3年度)に比べ18%も減少しています(※1)。姫路市においても「利用者数の減少→利便性の低下(運行本数の減少や値上げなど)→さらなる利用者数減少」の悪循環に陥り、乗客の減少が深刻な状況にあります。このまま利用者数の減少が続くと、路線の廃止や縮小など、公共交通事業そのものの維持が難しくなることも考えられます。

姫路市では、大切な公共交通を維持するため、利用促進に取り組んでいます。

- ① 利用性向上 (路線・バスの公共交通の機能強化や駅周辺整備を進めます)
- ② 利用環境改善 (乗り降りしやすさを改善します)
- ③ 参画と協働の推進 (交通事業者・行政・市民が協働で利用促進に取り組みます)

#### 公共交通のメリットをチェック!

① 環境にやさしい  
日本の二酸化炭素排出量のうち、運輸部門からの排出量は約20%。そのうち約10%は自動車から排出されています。一方、鉄道やバスは自動車に比べて燃費効率が良いため、二酸化炭素排出量が少なく、地球温暖化防止に大きく貢献できます。二酸化炭素排出量1トン削減は、1人1市町約30人、排出する二酸化炭素量は、14.2トンに相当します。

② 健康に良い  
鉄道やバスの通勤は、ソリイ自動歩行リハビリを促進します。【国土交通省発表「健康づくりのための運動指針2006」】そのため、忙しい現代人の健康づくりに役立つと考えられます。

③ 安全性が高い  
鉄道で事故に遭う確率は、自動車の約1/400。【国土交通省発表「安全に関する統計」】比較的安心して通勤することができます。

④ 定時性が高い  
鉄道は交通渋滞と無縁。決まった時刻に到着することができ、時間と気持ちに余裕が生まれます。

#### 公共交通を、もっと利用しよう

まずは、通勤交通手段を見直してみよう。

平日編

自宅から職場まで5km以内  
→ YES: オススメは「自転車」  
→ NO: オススメは「徒歩+鉄道」

最寄りの駅まで15分以内  
→ YES: オススメは「徒歩+バス」  
→ NO: やっぱり「自動車」

通勤の交通手段を変えると二酸化炭素の排出量が確実に少なくなります。

通勤時に排出する二酸化炭素量を具体的にチェックしてみましょう。

自宅から会社までの距離を測ってみよう。測った距離に交通機関別の二酸化炭素排出量をかけて、通勤で発生する二酸化炭素量を計算してみてください。

自宅から会社までの距離: km × 交通機関別二酸化炭素排出量: g-CO2/人・km = 二酸化炭素排出量: g-CO2/人

自動車の場合: km × 169 g-CO2/人・km = g-CO2/人

バスの場合: km × 49 g-CO2/人・km = g-CO2/人

鉄道の場合: km × 18 g-CO2/人・km = g-CO2/人

通勤に鉄道やバスの公共交通を利用することで、二酸化炭素排出量をしっかりと減らすことができます。

▲以前のバスの乗り方記載クリアファイル ICカード対応に更新する

※令和3年度 地方創生臨時交付金(国)を活用

▲リーフレット作成イメージ (発行: 姫路市)

## 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

[施策2-2] イベント実施等による認知度向上

② パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



### ・チャグバスの運行〈観光連携〉

公共交通と密接な関係にある観光事業（チャグチャグ馬コ）とタイアップ。目に留まるデザインに装飾した「チャグバス」を期間限定で運行し、チャグチャグ馬コのPRと公共交通の利用促進を図る。

（R3年度は県北バス社員と都市政策課職員で装飾を行った。コロナの影響によりチャグチャグ馬コは中止）



▲装飾の様子



2021.05.22

シェア ツイート LINEで送る

馬コ気分 車内でいかが 滝沢市と県北バスが企画車両

滝沢市と県北バス（盛岡市、松本原社長）がチャグチャグ馬コをテーマに企画した「チャグバス」は、6月12日まで期間限定で運行している。馬たちのように色とりどりに飾られたバスがまちを巡り、今年は分散開催となる伝統行事をPRする。

装飾作業は盛岡市扇川の同社で18日に行われ、滝沢市と同社から4人が参加。同市のキャラクター「ちやぐぼん」や馬コ行事のイラスト、写真コンテスト入賞作品のほか、実際に行事で使われる装束やはんぺんも飾った。

装飾バスは滝沢、盛岡、八幡平、岩手の4市町で、路線バスなどとして運行。路線は同社ホームページ



チャグバスの車内を華やかに飾る滝沢市と県北バスの関係者

朝日新聞  
DIGITAL

馬コ開催盛り上げ 「チャグバス」飾りつけ 岩手

滝沢後介 2021年5月26日 9時00分



バスの中には乗客に依りて使われた吹き流しが飾り付けられた。2021年5月18日午後2時16分、盛岡市、滝沢後介撮影

参加した吉田也美さん(29)は、「少しでも雰囲気と初夏の季節感を味わってほしい」と語った。

「チャグバス」の運行は祭りの当日まで、平日は滝沢など4市町をダイヤを固定せずに回り、土日祝日は盛岡バスセンターを始発にして1日4本走る。(滝沢後介)

▲◀新聞各社で報道

## 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



# ・ IGR いわて銀河鉄道車両への全面ラッピングを実施（コロナ対策事業）

IGR初となる1編成（2両）の全面ラッピングを実施。県内外からの注目度を高め、IGRの認知度向上により、マイレール意識の醸成、利用者の増加を図る。 ※令和2年度

地方創生臨時交付金(国)を活用



デザイン①【東側（滝沢市側）】



キャラクターたちとともにチャグチャグ馬コが市内名所の前を行進する様子が楽しく描かれている。



▲つり革や路線図等にも同じデザインを使用

デザイン②【西側（IGR側）】



IGRの社色のスターライトブルーをベースに銀河をイメージ。キャラクターたちが銀河に浮かぶ。



## 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



### ・滝沢市× I G R ラッピング車両 お披露目セレモニー



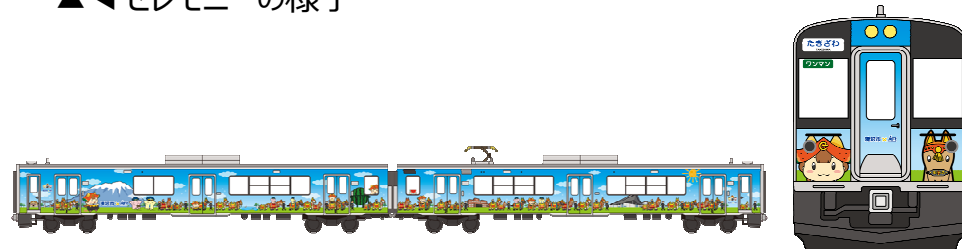
滝沢市× I G R ラッピング車両運行開始に先立ち、令和3年3月にお披露目セレモニーを滝沢駅で開催。地元の保育園児やデザイン作成に携わった岩手県立大学学生らも出席。記念入場券の販売や利用促進グッズの配布も行った。



記念入場券



▲◀セレモニーの様子



## 2 公共交通の認知度向上プロジェクト

〔施策2-2〕イベント実施等による認知度向上

②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施



### ・ I G R × 滝沢市フォトコンテストを開催



I G Rいわて銀河鉄道と共催し、滝沢市× I G Rラッピング車両や滝沢駅のコラボデザイン看板、巣子駅の駅柱標を広くPRし、I G Rの利用促進や地元のマイルール意識の醸成を図るため、フォトコンテストを実施。

応募作品計54作品から、入選作品10作品を決定。これらの作品は今後I G Rの利用促進に活用していく。



▲最優秀賞作品



▶入賞作品

### 3 公共交通の環境改善プロジェクト

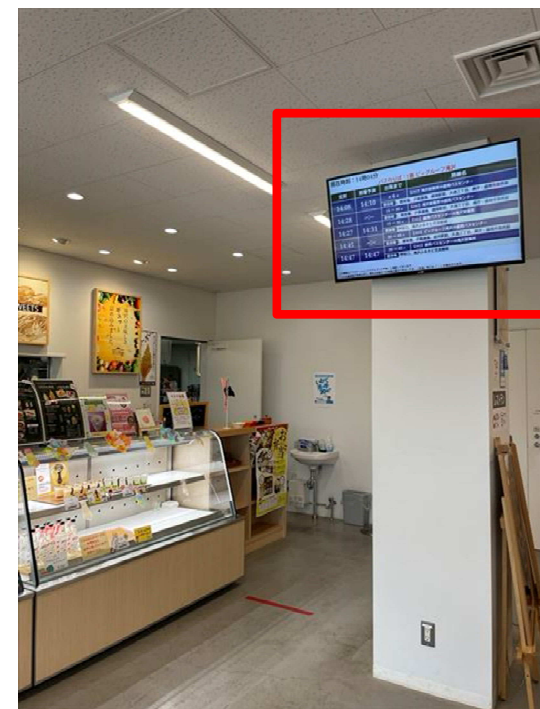
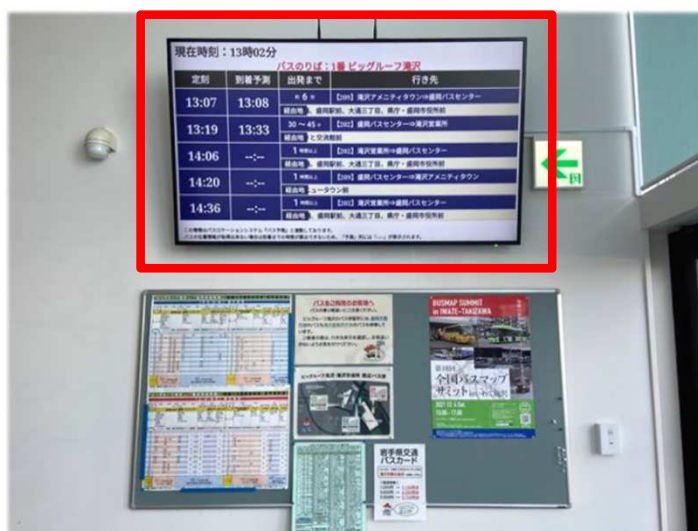
〔施策3-1〕交通拠点整備による利便性向上

①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善



## デジタルサイネージを設置（コロナ対策事業）

市内の交通結節点である滝沢市役所へ1台、ビッググループ滝沢へ4台設置し、岩手県交通株式会社で導入しているバスロケーションシステムを表示している。令和3年3月25日（木）から運用開始。



▲サイネージ設置箇所の一部（滝沢市役所「正面玄関」、ビッググループ滝沢「バス待ちの小屋根」、たきざわキッチン）

※令和2年度 地方創生臨時交付金(国)を活用

### 3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1]交通拠点整備による利便性向上



①主要拠点の交通環境の強化・待合い環境の改善

## JR小岩井駅周辺整備

交通結節点、さらには観光施設で歴史的建造物21棟（国重要文化財）を有する「小岩井農場」の観光拠点駅として機能向上を図るため駅前広場、トイレを整備



整備中



▲JR小岩井駅  
(整備前)

◀宮沢賢治と小岩井駅  
(宮沢賢治は小岩井  
農場が好きで何度も  
訪れていた。)

駅前広場及びトイレ（JR所有）を市が取得し整備  
※駅舎（築100年）の改築については現在JRと協議中

### 3 公共交通の環境改善プロジェクト

[施策3-1]交通拠点整備による利便性向上

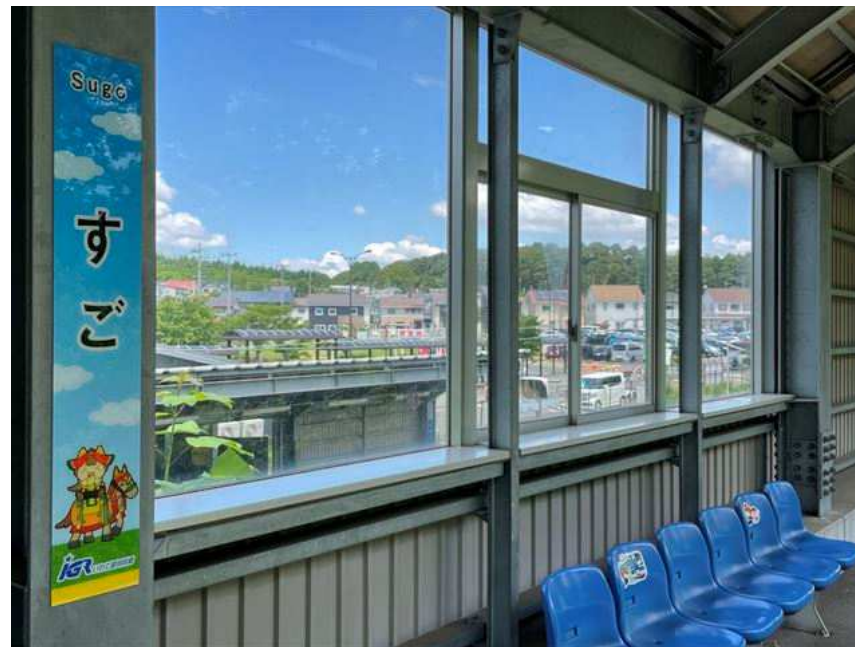
②多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善



## ・ I G R 巣子駅への駅名標の設置

I G R 巣子駅にラッピング車両のデザインを使用した駅名標を設置

⇒ 上り線、下り線ホーム柱合計 11 か所に設置



◀ 駅名標デザイン

# 4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

## 〔施策4-1〕市民の公共交通に対する意識醸成

### ①地域の公共交通を考える意見交換会等の開催



## ・第18回全国バスマップサミットinいわて滝沢の開催

現地に約80名、WEB視聴が30名と全国各地から約110名が参加。岩手県、盛岡市及び滝沢市が事例を発表し、これまでの取り組み内容や課題等を自治体、交通事業者、市民と共有する機会とした。



▲ギャラリー展示の様子



▲当日の様子

# 4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-2] 協働・連携による体制づくり

## ① 大学と連携した公共交通施策の展開



### ・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案 **【1年生】**

前年度と同様に3グループが実現可能な市の公共交通施策を検討  
テーマ：「橋場線100周年記念事業で実施するイベント等について」

令和3年12月22日（水）に県立大講義室で発表会を開催した。



▲授業の様子



▲発表会の様子

▲岩手日報、盛岡タイムス新聞記事

## 4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

[施策4-2] 協働・連携による体制づくり

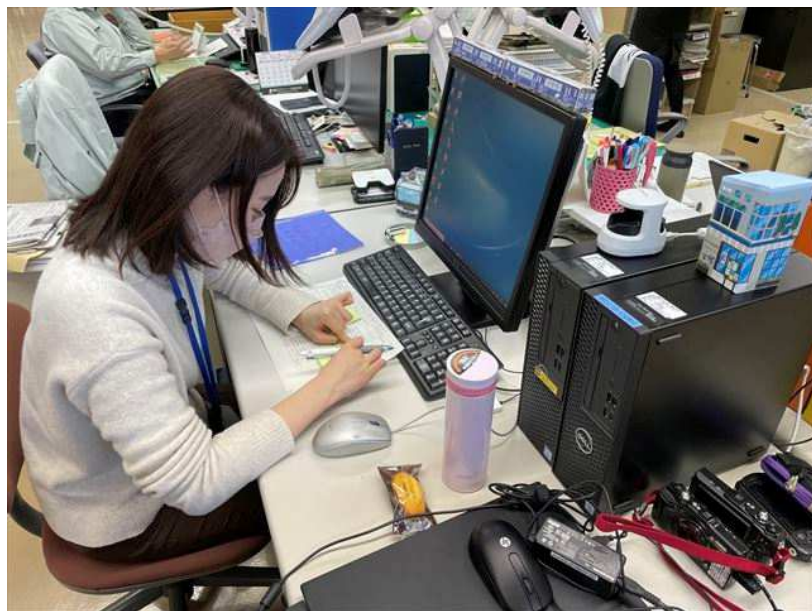
### ① 大学と連携した公共交通施策の展開



## ・会計年度職員（学生アルバイト）の雇用（コロナ対策事業）

コロナ対策事業の一つで、昨年度と同様に会計年度職員として学生アルバイトを雇用。岩手県立大学の学生1名が、令和3年6月～令和4年2月まで都市政策課に配属されている。

公共交通利用動機付けリーフレットの作成や公共交通会議の運営など公共交通関連の業務に従事してもらっている。



▲学生アルバイトの勤務の様子（R2年度、R3年度）

※令和3年度 地方創生臨時交付金(国)を活用



# 4 多様な主体と連携・協働プロジェクト

〔施策4-2〕協働・連携による体制づくり

## ②モビリティマネジメントの推進



### ・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進

平成30年11月から全庁での試験運用を実施。令和元年11月から本格運用としている。

市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進を行い、職員自らが公共交通の利用機会を創出するとともに、日常的な公共交通の利用につなげる。(市民に対しての公共交通利用の啓発、環境への負担軽減なども同時に図る)今年度も昨年に引き続き、コロナの影響で利用者が減っている。

【令和2年11月から令和3年10月までの1年間の実績 ( )内は前年同期間】

**延べ利用人数：38人 (55人)**

**使用金額：27,010円 (45,830円)**

**【バスカード使用制度の試行について】**

- 公共交通の利用促進のため、職員の出張の際にバスカードが使用できるようになりました。
- 県庁・盛岡駅方面へは、ビッグルーフ・市役所から20分おきにバスが出ているのでバスの利用が便利です。
- 詳しい使用方法は、下記のファイルをご覧ください。

**ファイル管理 - (バス時刻表)**

タイトル	ファイル名	更新日時	サイズ
★ 右の時刻表をクリックしてください →	ビッグルーフ・市役所⇄県庁・盛岡駅バス時刻表(R1.10.1改訂)【平日】.pdf	2019年09月30日 (月)	170 KB
★ 使用方法は右をご覧ください ⇒	バスカードの使用方法 (最終変更20190408) .docx	2019年04月10日 (水)	132 KB

**スケジュール (グループ表示)**

2019年04月14日 (日)

ユーザー (1-3 件表示 / 3 件中)	04/14 (日)	04/15 (月)	04/16 (火)	04/17 (水)	04/18 (木)	04/19 (金)	04/20 (土)
新バスカード (A)	☑	☑	☑ 13:00-17:15 消費税軽減税率制度等に依る研修会 (企業振興課 大機 (内線4132)) 【バスカード (A)】	☑ 13:00-20:00 岩手の高校教育を考えるフォーラム：プラザおでって (企画総務部 岡田2100) 【バスカード (A)】	☑ 09:00-14:00 岩手県内PCB廃棄物 少量保管事業者向け処理委託 契約等説明会：岩手県庁 (財務課 小西・2173) 【バスカード (A)】	☑ 13:00-04/22 (月) 平成31年度第1回 岩手県都市財政運営連絡協議会：盛岡市 (財務課 櫻岡・2183) 【バスカード (A)】	☑ 04/19 (金) -04/22 (月) 平成31年度第1回 岩手県都市財政運営連絡協議会：盛岡市 (財務課 櫻岡・2183) 【バスカード (A)】

▲職員の内部情報システムからバスカード利用予約ができる



## ・交通事業者を対象とした支援金等（コロナ対策事業）

市内に乗降可能なバス停留所を有する**乗合バス事業者**、市内に本社又は営業所を有する**貸切バス事業者**、盛岡交通圏を営業区域とする個人タクシーを含む**タクシー事業者**に対して、支援金を給付。

また、**IGRいわて銀河鉄道**に対して、県及び沿線市町と共に運行支援交付金を交付。

### 【支援金実績】

乗合バス事業者（3社）	：	8,550,000円
貸切バス事業者（4社）	：	2,630,000円
タクシー事業者（23社）	：	4,905,000円
個人タクシー事業者（69名）	：	445,000円
IGRいわて銀河鉄道（市負担分）	：	7,969,000円



**合計**      ：**24,499,000円**

# 今後の施策への取組



## 令和4年度に実施を予定している主な取組

- ・小さな交通需要に対応したサービスの検討（実証実験）
- ・チャグバスの運行【令和4年5～6月予定】
- ・たきざわバスまつり2022の開催【令和4年7月予定】
- ・橋場線開通100周年記念事業【令和4年7～9月頃予定】
- ・公共交通利用動機付けリーフレット等の配布【令和4年4月～】
- ・盛岡大学学生のためのバス時刻表作成
- ・次期公共交通計画の策定に向けた検討（現計画が令和4年度で終了）



## 今後の課題として各関係機関と協議中の取組と 検討が必要な取組

- ・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成
- ・市の中心市街地形成（市役所周辺）と連携した移動手段の検討  
→ 長年の課題として、市内各地域から市役所周辺までの移動手段が少ないことが挙げられる。  
また、現在検討を進めている市役所前の中心拠点商業地開発に伴い、市役所周辺への移動需要が増えることが想定されることから、路線バスの運行経路見直し等について、バス事業者と協議し、**中心市街地までの移動手段の確保**を検討

滝沢市地域公共交通計画(滝沢市地域公共交通網形成計画)  
 施策・プロジェクト実施スケジュール表【平成29年度～令和4年度】

●.....→ 検討・協議 ●.....→ 計画上の  
 → 実証・実施 → スケジュール

施策・プロジェクト	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度														
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
<b>1 公共交通の利便性向上プロジェクト</b>																														
<b>【施策1-1】地域間幹線軸の品質・サービスの向上</b>																														
①市内主要拠点と隣接市町を結ぶ路線バスのサービス充実(実施主体:市、県交通、県北バス、JRバス)	●.....→																													
・バス事業者間の連携・調整したダイヤ編成	.....→																													
②拠点形成の変化に合わせた経路の見直し(実施主体:市、県交通、県北バス、JRバス)	●.....→																													
・路線バス青山町線の一部再編(ビッグループ滝沢への乗り入れ)	.....→																													
・市役所周辺バス停の統合、運行経路の見直し	.....→																													
<b>【施策1-2】市内移動における利便性向上</b>																														
①市内主要拠点を結ぶ地域内交通ネットワークの検討(実施主体:市、交通事業者)	●.....→																													
・中心拠点形成に合わせた路線バスの運行経路の見直し	.....→																													
②小さな交通需要に対応した交通サービスの検討(実施主体:市、交通事業者)	●.....→																													
・地域特性に応じた交通サービスの検討(柳沢・姥屋敷地区)	.....→																													
<b>2 公共交通の認知度向上プロジェクト</b>																														
<b>【施策2-1】情報発信による認知度向上</b>																														
①公共交通の案内・情報発信ツールの作成(実施主体:市、交通事業者)	●.....→																													
・「滝沢市公共交通マップ」の作成	.....→																													
・地区別「滝沢市公共交通マップ」の作成	.....→																													
・「広報たぎざわ」掲載による公共交通の情報発信	.....→																													
・公共交通に関する「ちやぐぼん」の新デザイン作成	.....→																													
・IGR滝沢駅へのコラボデザインの設置	.....→																													
・IGRすきになっちゃうガイドの作成	.....→																													
・公共交通利用動機付けリーフレット等の作成	.....→																													
・盛岡大学学生のためのバス時刻表作成	.....→																													
②スマートフォン等を活用した情報発信(実施主体:市、交通事業者)	●.....→																													
・滝沢ナビ(スマートフォンアプリ)を活用した公共交通に関する情報発信	.....→																													
<b>【施策2-2】イベント実施等による認知度向上</b>																														
①児童・生徒等を対象とした乗り方教室等の開催(実施主体:市、交通事業者)	●.....→																													
・バスの乗り方教室の開催	.....→																													
・「Out of KidZania in 滝沢」の開催	.....→																													
②パッケージサービス・企画乗車券等の連携サービスの実施(実施主体:市、関係機関(観光・商業)、交通事業者)	●.....→																													
・チャグバスの運行(観光連携)	.....→																													
・IGRラッピング車両の運行(観光連携)	.....→																													
<b>3 公共交通の環境改善プロジェクト</b>																														
<b>【施策3-1】交通拠点整備による利便性向上</b>																														
①主要拠点の交通環境の強化・待合環境の改善(実施主体:市、交通事業者(鉄道・バス))	●.....→																													
・市役所及びビッグループ滝沢でのバスカード販売	.....→																													
・市役所及びビッグループ滝沢バス停の待合環境整備	.....→																													
・次世代型バスロケーションシステムの実証実験	.....→																													
・次世代型バスロケーションシステムの設置	.....→																													
・ビッグループ滝沢バス待合所へのサイン設置(実証実験)	.....→																													
・ビッグループ滝沢・滝沢市役所へのサイン設置	.....→																													
・ビッグループ滝沢バス停サイクルポート等の設置	.....→																													
・JR小岩井駅周辺整備	.....→																													
②多言語化・カラーリング等のわかりやすい案内・標識へ改善(実施主体:市、交通事業者(鉄道・バス))	●.....→																													
・路線バス(青山町線系統)の目的地表示をわかりやすく改善	.....→																													
・バス停留所名称の統一(改善)	.....→																													
・IGR滝沢駅への駅名標や乗継案内サイン看板の設置	.....→																													
・IGR菓子駅への駅名標の設置	.....→																													
<b>【施策3-2】利用しやすい交通体系の構築</b>																														
①交通弱者に対する交通施策の展開(実施主体:市、交通事業者(鉄道・バス))	●.....→																													
・交通弱者を対象とした助成・割引等の支援	.....→																													
・滝沢市公共交通回数券購入等補助事業の実施	.....→																													
②乗り換え・乗り継ぎがしやすい運行ダイヤへ改善(実施主体:市、県交通、県北バス、JRバス)	●.....→																													
・交通機関同士の接続性を考慮したダイヤ編成	.....→																													
<b>4 多様な主体と連携・協働プロジェクト</b>																														
<b>【施策4-1】市民の公共交通に対する意識醸成</b>																														
①地域の公共交通を考える意見交換会等の開催(実施主体:市、市民)	●.....→																													
・市民を対象とした意見交換会の実施	.....→																													
・公共交通セミナーの実施(交通ジャーナリスト・鈴木文彦氏)	.....→																													
・第18回全国バスマップサミットの開催	.....→																													
②地域主体の公共交通維持に向けた取り組みの検討(実施主体:市、市民)	●.....→																													
・高齢者の移動手段に関する意見交換会の実施	.....→																													
<b>【施策4-2】協働・連携による体制づくり</b>																														
①大学と連携した公共交通施策の展開(実施主体:市、交通事業者、市内大学)	●.....→																													
・岩手県立大学生による調査・研究(小岩井地区意見交換会)	.....→																													
・岩手県立大学生による新たな公共交通施策の立案	.....→																													
・会計年度職員(学生アルバイト)の雇用	.....→																													
②モビリティマネジメントの推進(実施主体:市)	●.....→																													
・市職員の盛岡方面への出張における路線バスの利用促進	.....→																													
③交通事業者のドライバー確保に向けた取り組みの実施(実施主体:市、交通事業者)	●.....→																													
・交通ドライバー確保に向けたPRポスターの掲示、配布	.....→																													